

令和2年度 第4回 理事会議事案

日 時：令和2年8月12日（水） 19：30～23：00

場 所：WEB

[出席者]

理 事：小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、山城忍、仲宗根美紀、金城良和、
當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、玉城すみれ、武富新太郎

監 事：仲西孝之、千知岩伸匡

欠 席：当真祐二（理事）

書 記：（事務所）上間

定刻に司会者小嶺衛は開会を宣し、本日の理事会は出席者が定款第36条のとおり定数を満たしていたので有効に成立した旨を告げた。

議決に加わることの出来る理事数 15名

出席者理事数 14名

次いで定款第35条により、小嶺衛が議長となり、直ちに議案の審議に入った。

[審議事項]

- ・第1号議案 入会の承認に関する件 … **【資料ファイル1】**
- ・第2号議案 第22回沖縄県理学療法学会 大会長推薦について
- ・第3号議案 職務権限規程変更について… **【資料1】**
- ・第4号議案 沖縄県受託事業に関わる団体総合生活補償保険契約について… **【資料2】**
- ・第5号議案 高校野球医療サポート日当基準変更（増額）について
- ・第6号議案 第21回沖縄県理学療法学会のリモート開催に伴う業務委託業者の選出について
… **【資料3】**
- ・第7号議案 第49回医療功労賞候補者の推薦について

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

・R2.7/7～8/7までの受付・発行文書 … **【収受・発行文書(原本)ファイル】**

・R2.7/1～7/31までの会員異動詳細 … **【資料ファイル2】**

・事務員の給与明細 … **【資料ファイル3】**

4. 社会職能局

※月次活動報告

5. 教育学術局

※月次活動報告

6. 各種委員会

第1号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 2年 8月 7日	提出者：上間聖子	
担当局：事務局	担当部：総務部	
議案主題	入会の承認に関する件 【資料ファイル1】	
議案内容及び提出理由	<p>【入会申請者】計5件 承認：5件、 否認：0件、保留0件</p> <p>【会員動向】令和2年7月31日現在 ※連絡不能者含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在会会員数：1,529名、施設所属会員数：1,378名、自宅会員数151名 ・休会：204名 ・会員所属施設数：275施設 <p>【期間会員動向】令和2年7月1日～令和2年7月31日</p> <p style="text-align: center;">※当協会入力状況から検索</p> <p>異動：15名（県内：15名 転入：0名 転出：0名） （うち再申請：0名 否認0名）</p> <p>休会：3名※休会継続含む</p> <p>退会：1名</p> <p>復会：0名</p>	
審議内容	① 入会の可否について 久高事務局長）入会状況・異動会員状況について説明。 質疑無。	
審議結果	① 入会の可否について 全会一致で可決	
	担当局：事務局	担当部：総務課
備考		

第2号議案 第22回沖縄県理学療法学会 大会長推薦について

提出日：令和 2年 8月 12日	提出者：立津 統	
担当局：沖縄県理学療法学会	担当部：沖縄県理学療法学会	
議案主題	第22回沖縄県理学療法学会 大会長推薦について	
議案内容及び提出理由	<p>第20回、21回大会終了時、大会長退任に伴う次期大会長選出について</p> <p>公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 沖縄県理学療法学会規定</p> <p>第2章 学会役員 (大会長)</p> <p>第2条 学会大会に大会長1名を置く。</p> <p style="padding-left: 2em;">2 大会長は、正会員の中から理事会が推薦し、総会の承認を得て選任される。</p> <p>細則</p> <p>第3条 役員を選出及び任期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選出：当協会理事会 ・選考基準：当会会員であり、臨床経験15年以上を有し、学術面にて他の模範となる 	

	<p>活動や業績を残している者でかつ学術大会を統括する能力を有する者、またはそれに相当する能力を有していると判断される者。</p> <p>・任期2年(但し再任を防げない。また諸事情による中途退任を認める)</p> <p>※大会長の退任は、次期大会長への引き継ぎを考慮した期間をもって、その意向を理事会へ報告しなければならない。</p>
審議内容	<p>次期大会長候補者：末吉恒一郎（元実行委員長、当協会副会長）</p> <p>①理事会の推薦についての可否 立津大会長) 第22回・23回沖縄県学術大会の大会長の推薦について説明する。 これまでも理事会にて前回の大会長より推薦者を提示し、理事会では買ってきている。そこで、今回も末吉副会長を推薦したい。 久高事務局長) 現在の実行委員長を次期大会長へとのことです。 立津大会長) その通りです。又、次期実行委員長の推薦も第4条にあるが、大会長が決定次第次期大会長より推薦を受ける予定である。 小嶺会長) 大会長については、今までの経験上理事の中からになっていただいた方が、決定事項等の理事会での把握及び理解を得やすいことがある。役員の業務量としてはかなり多くなるが、是非お願いしたい。 又、規程に照らしても末吉副会長を推薦することは問題が無いものと思うがいかがか。 他に質疑無。</p>
審議結果	<p>①理事会の推薦についての可否 全会一致で可決</p>
	<p>担当局：沖縄県理学療法学術大会 担当部：沖縄県理学療法学術大会実行委員会</p>
備考	

第3号議案 職務権限規程変更について

提出日：令和2年8月12日	提出者：小嶺衛・久高将臣
担当局：会長・事務局	担当部：総務部
議案主題	職務権限規程の変更について 【資料1】
議案内容及び提出理由	令和2年度役員変更及び令和2年度第3回理事会第2号議案にて新組織体制が認められたことに伴い職務権限規程の変更を提案する。
審議内容	<p>別紙の職務権限規程新旧対照表案の内容確認。</p> <p>①職務権限規程の変更の可否について 久高事務局長) 職務分掌規程の変更点について説明する。 (変更点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部は今まで整備中であったため総務預かりとしていたが、整備も進んできたことから今年度より独立させて組織図の中に支部長会議を設置したい。 ・政策活動委員会の名称を政策活動推進委員会としたい。 ・九州理学療法士・作業療法士合同学会の名称は、学会の変更に伴い、九州理学療法士学術大会へ変更したい。 <p>南部理事) 教育学術局では、専門認定領域研究支援部で行ってきた生涯学習システム</p>

	<p>研修会の企画・運営を生涯学習支援部へ移管したいと考えているが、再度議案として変更を検討する必要はあるか。</p> <p>久高事務局長) 職務権限規程に照らし、かけ離れていなければ、議案として検討する必要は無いものとする。</p> <p>小嶺会長) 新体制の中で、この内容で進めていただきたいと考えているが、いかがか。反対意見、質疑無。</p>
審議結果	<p>①職務権限規程の変更の可否について</p> <p>全会一致で可決</p>
	<p>担当局：事務局</p> <p>担当部：総務部</p>
備考	

第4号議案 沖縄県受託事業に関わる団体総合生活補償保険契約について

提出日：令和2年 7月 29日	提出者：久高将臣
担当局：事務局	担当部：
議案主題	<p>沖縄県受託事業に関わる団体総合生活補償保険契約について 【資料2】</p>
議案内容及び提出理由	<p>令和2年度地域支援事業等市町村支援アドバイザー事業（県受託事業）において、派遣者の活動時の事故及び災害による傷害・死亡に対する補償として団体総合生活補償保険を契約したい。</p> <p>については、契約の可否について検討いただきたい。</p>
審議内容	<p>①契約の可否について</p> <p>保険料：24,000円（令和2年8月1日～令和3年3月31日まで）</p> <p>契約先：合同会社 海邦 保険事業部 海邦総合保険</p> <p>久高事務局長) 県受託事業では、各職能団体に活動協力を得ている。アドバイザー事業の派遣に伴って起こりうる事故等の保証の為に8名の団体保険へ加入したいと考えている。又、この保険については県事業費の中から支出することが出来ることを県に確認している。</p> <p>小嶺会長) この保険は例年入っているものなのか。</p> <p>久高事務局長) アドバイザー事業は昨年より受託しているが、昨年度は事業の開始時期が遅くなったことから加入していなかったが、今期からは派遣者の保証の観点から加入したいと考えている。</p> <p>小嶺会長) 現状コロナ感染症拡大の状況下であるが、事業実施は出来るのか。</p> <p>久高事務局長) 実際に今月から浦添市への派遣が始まる予定となっており、その為に加入を今月より行いたい。</p> <p>山城理事) 渉外事業部で加入している保険もあるが、この保険に決めたのはなぜか。</p> <p>事務所上間) アドバイザー事業の派遣については、日程が流動的であること、又、渉外事業部が加入している保険は、その都度期日を指定して加入するものである為、手続きが難しく、この保険が適当と考えている。</p> <p>他に質疑無。</p>

審議結果	①契約の可否について 全会一致で可決	
	担当局：事務局	担当部：総務部
備考		

第5号議案 高校野球医療サポート日当基準変更（増額）について

提出日：令和 2年 8月 12日	提出者：山城忍
担当局：社会職能局	担当部：スポーツ事業部
議案主題	高校野球医療サポート日当基準変更（増額）について
議案内容及び提出理由	<p>高校野球医療サポート日当基準変更（増額）について下記内容の審議を御願い致します。</p> <p>【現行】 平成26年度より、日当：1,000円／1試合 1日の試合数：最大で3試合（3,000円：3試合×1,000円） 1試合の拘束時間：3時間（試合前練習および試合後のクールダウン含む） 1日の拘束時間：9時間（8：30～17：30）：3試合／日（3時間×3試合）</p> <p>【変更案】 報酬：2,000円／1試合 適応開始時期：令和2年度 秋季大会 1日の試合数：最大で3試合（6,000円：3試合×2,000円） 1試合の拘束時間：3時間（試合前練習および試合後のクールダウン含む） 1日の拘束時間：9時間（8：30～17：30）：3試合／日（3時間×3試合） 提出理由：1、令和2年度より、日当の基準が変更となった。 高校野球医療サポートについても、他事業と報酬における整合性を得る目的で、日当水準を合わせたい。</p>
審議内容	<p>①高校野球医療サポート日当基準変更（増額）についての可否 山城理事）高校野球医療サポートの現在までの経緯と派遣者への日当の支払について説明する。 4月に当協会の日当規程が変更になっている。それを基準にトータルの支払額が日当規程を超えないようにとのことで設定・提案している。 今期コロナ感染症拡大の予防をしながらの県独自の大会開催があり、できる会員のみでの対応となったが、多くの試合に派遣を行ったことで高野連側も医療サポートの充当性を考慮し、懸案であった契約事項の件を検討いただけるような話し合いができる状況も見られている。 更に、高校野球の場合、拘束時間が長いので報酬については契約に伴って収入が確保できることを根拠として日当を引き上げていただきたい。 立津副会長）増額によって、サポートの人数を増やせる環境を作ることも可能となると考えるので、増額も良いのではないかと。又、少人数での負担も減らしていけることにつながられるのではないかと。 小嶺会長）今回増額が認められれば、そのことを広く会員へコマーシャルしてはどうか。</p>

	<p>山城理事) 現場での対応については、高い技術と知識が必要となっている。そのことから、質の担保の為派遣者のハードルを高く設定している。誰でも派遣できるとはしたくない。</p> <p>人材育成については、引き続き継続して行ってきたい。</p> <p>しかし、今回増額ができれば、現在活動を休止入っている会員で派遣可能な会員の活動促しは出来るのでは無いかと考えている。</p> <p>小嶺会長) 以前牧門部長よりサポーターがなかなか集まらないと聞いたことがある。問題の解決の為に、増額をコマーシャルすることも戦略として考えてはいかがか。</p> <p>又、学生の見学受け入れを進めていくことも今後の階大会けるにつながるのではないか。</p> <p>山城理事) 最近は少ない状況はあるが、学生の受け入れについては、教員の同行と養成校での保険加入を条件に現在も可能である。</p> <p>末吉副会長) 日当の額についてだが、現行の日当規程に基づいてはいかがか。一試合に掛かる拘束時間が長いことも聞いているので、実際に掛かった時間で考えてはどうか。</p> <p>山城理事) 高校野球の場合、8時間以上となることもあるので、規程を更に8時間以上の額も設定してはどうかと考えている。</p> <p>久高事務局長) 1試合3,000円にしてはどうか。</p> <p>小嶺会長) 事務局として予算化できるのか。</p> <p>事務所上間) 県の監査の際には、どの規程を根拠に支払いを行ったのか確認がある。支払いに関しては、根拠を示していただきたい。日当規程でいくと、上限は4時間以上7,000円である。</p> <p>久高事務局長) 県事業では異なる支払いをしているが。</p> <p>事務所上間) 県事業においても支払規程を作っており、その際も1日の上限は8時間迄を支払対象としている。(4時間迄は時間単位の額で4時間以降8時間まではその半額としてそれを上限とする) 拘束時間がそれ以上であっても、最大6時間分の謝金支払である。</p> <p>久高事務局長) 日当の支払いについては、今後会計事務所へ確認していく。</p> <p>小嶺会長) サブのスタッフの日当金額も増額してはいかがか。</p> <p>山城理事) 現時点では、サブの方に関しては500円を支払っている。この差額が今後メインのサポーターへの動機づけになればと考えている。</p> <p>他に質疑無。</p>
<p>審議結果</p>	<p>①高校野球医療サポート日当基準変更(増額)についての可否 全会一致で可決</p> <p>担当局：社会職能局 担当部：スポーツ事業部</p>
<p>備考</p>	

第6号議案 第21回沖縄県理学療法学会大会のリモート開催に伴う業務委託業者の選出について

<p>提出日：令和2年 8月 12日</p>	<p>提出者：末吉恒一郎 立津統</p>
<p>担当局：第21回沖縄県理学療法学会大会実行委員会</p>	<p>担当部：</p>
<p>議案主題</p>	<p>第21回沖縄県理学療法学会大会のリモート開催に伴う業務委託業者の選出について 【資料3】</p>

<p>議案内容及び提出理由</p>	<p>第21回沖縄県理学療法学会大会のリモート開催に向けて、業務委託業者の選考を行った。今回、入札方法は指名競争入札とし、JTB沖縄様、Peppermintz様、の2社にてプレゼンテーションを行い、入札会議にてPeppermintz様を選出した。以下に審議結果を報告するので、契約先の決定についてご審議いただきたい。</p> <p>1. 会社概要</p> <p>【Peppermintz】</p> <p>〈法人名〉石川廉（peppermintzは屋号）、〈法人形態〉個人事業主、〈資本金〉個人事業主のため該当項目無し、〈社員数〉1名、〈事業内容〉ライブ配信事業・動画制作事業・WEB開発事業・コンサルティング事業、〈主な事業実績〉：①国会議員が参加する超党派議員議連会議でのライブ配信「永田町こども未来会議」、②ライブハウスでのイベント企画・ライブ配信、③webメディア開発「LIVE DIG」、④学習塾・ライブハウスのライブ配信導入コンサルティング、⑤Webサイト構築等</p> <p>【JTB沖縄】</p> <p>〈社名〉JTB 沖縄、〈法人形態〉株式会社、〈資本金〉1億円、〈社員数〉185名、〈事業内容〉旅行業、地域活性化事業（観光コンサルタント）、沖縄県観光情報を中心とした広告のプロモーションビジネス、観光産業への人材派遣および紹介業、〈主な事業実績〉国際会議（代表例；九州・沖縄サミット）、医療系団体学会（代表例；JPTA 主催第51回全国学術研修大会）</p> <p>2. 予算 ※詳細は添付資料参照</p> <p>【Peppermintz】 ¥319,000</p> <p>【JTB沖縄】 ¥398,915</p> <p>3. 審議結果</p> <p>今回はリモート開催であり、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、最少人数あるいは会場に集合しない中でも開催する可能性があることを踏まえて検討した。結果、WEB開催の経験が豊富であり、業者スタッフ1名でも開催可能なPeppermintzを選出した。JTB沖縄は、MICEに特化した大企業であるが、プロデューサーやカメラマン、PCオペレーター等、複数スタッフが必要であること、予算面でも高額であったことから、Peppermintzを選出した。</p>
<p>審議内容</p>	<p>①リモート開催に伴う業務委託業者の決定の可否について</p> <p>末吉準備委員長）県学会実行委員会で業務委託業者選択のコンペティションを行った経緯と三役で選定した結果について説明する。又、久高事務局長に事務手続きをしてもらっていることを報告する。</p> <p>立津大会長）これまでも委員会で業者選定をある程度行って、報告したこともあったが、事前にこれらの情報を理事会で図ってから決定すべきであったと考えている。</p> <p>久高事務局長）これまでは、法人との契約が多く、事前に契約先の会社情報を知り得る形であった為、手続きを進められていたが、今回は個人事業者とのことで、今までのような手続きが取れなかった。会計事務所に確認したところ、個人事業主の場合、実績を持って判断することも良いとの確認を取ってある。その為、今回のPeppermintz 石川氏は障害児のNPO法人に所属し大きな事業も行っており、問題は無いものとする。</p> <p>比嘉理事）Peppermintzは知り合いなのか。</p> <p>末吉準備委員長）実行委員会瀬底氏からの推薦であった。ただし、実績は確認している。</p> <p>比嘉理事）今回実績として挙げているものの中に、確認できないものが含まれていた。</p>

更に実行委員会で行いたい作業内容と Peppermintzが実績としている内容はあっているのかが心配である。

末吉実行委員長) 予算的にもPeppermintzが適当と判断した。更に、当協会が行いたい研修会の実施形態の意向も実行できるとの印象を持っている。

小嶺会長) PeppermintzはYouTubeとZoomのコラボレーションで行っているもので、園舎の顔出しも可能との確認ができた。こちらの要望を実現化できると考えられ、好印象であった。また、もう一つの入札先であるJTBも専門家集団で甲乙つけがたかったが、今回はPeppermintzの方を選択した。

末吉実行委員長) 会場配信方法について、JTBはそれぞれに担当者を配置する方法を提示していたが、Peppermintzは最低1人でも対応が可能であること、それらの理由から安価での対応が特徴であった。

又、コンペティションの中で放送の具体案を色々提案してもらったこともあり、全員の総意としてPeppermintzを選定した。

比嘉理事) YouTubeでの配信についてだが、有料配信は原則禁止されている。今回の学会は会費を取って参加する形であると考えるが、コンプライアンス的に問題はないのか。

有料配信可能な別の配信方法もあるので、検討してはいかがか。

小嶺会長) YouTubeを使用するのであれば、料金を支払った会員しか視聴しては行けないが、勝手にアドレスなどを譲ったりする問題もあると聞いている。利用する方のモラルの問題も今後検討していかなければならないかもしれない。

末吉準備委員長) JPTAはZoomを使用している会員制の配信がある。

久高事務局長) しかしこれは、ウェビナーを使用している。

小嶺会長) 実際の配信方法等の具体案については、実行委員会で検討していきたい。

仲宗根) 入札の場合、行政などでは点数的根拠が必要となっているが、今回はそれを取っていないのか。

立津大会長) 今回選定に係った委員の内、1人はJTBを推しており、1人は半々の判断であったが、残りの委員の判断はPeppermintzであった。

仲宗根理事) 入札結果の根拠としては、点数化したものを残しておく方が良いのではないか。

小嶺会長) 4・5年前にあった全研の業者選定入札会議では、JPTAより小川副会長(当時)や教育担当理事にも出席して行われ、点数票を根拠とした。今回もその様に対応すべきであった。今後はその様に対応するべきだと思う。

末吉準備委員長) 当協会定款の経理規程に従って、指名入札の手続きを取った。プロセスの中で客観的指標を取るべきであったと思う。今後に活かしていきたい。

久高事務局長) 誤解を招かぬよう点数票は作成してください。

小嶺会長) 学会事務局で作ってもらうか、自分が全研の際の資料から点数票を探して準備したい。

千知岩監事) Peppermintzは1人で活動されている会社であるとのことであるが、コロナ感染症に罹患したりする等のアクシデントが起こった場合の対応は大丈夫なのか。

末吉準備委員長) フローレンスという法人に所属しており、そこでバックアップの要因を整えることが出来るとのことである。

久高事務局長) Peppermintzは9月には法人格を取るとの事を聞いている。

会計事務所からは損益計算書を3年分提出していただくことも判断材料とのアドバイス

	を受けているので、大丈夫だと考えている。 他に質疑無。
審議結果	①リモート開催に伴う業務委託業者の決定の可否について 全会一致で Peppermintz への業務委託を可決 担当局：第 21 回沖縄県理学療法学会大会実行委員会 担当部：
備考	添付資料 ・入札会議（第 10 回、11 回 実行委員会議事録） ・Peppermintz、JTB 沖縄様予算書

第 7 号議案 第 49 回医療功労賞候補者の推薦について

提出日：令和 2 年 8 月 12 日	提出者：末吉恒一郎
担当局：表彰審査委員会	担当部：
議案主題	第 49 回医療功労賞候補者の推薦について
議案内容及び提出理由	<p>県保健医療部保健医療総務課より「第 48 回医療功労賞候補者の推薦依頼」の通知があり、理事・監事・支部長から推薦を募った結果、池城正浩氏の推薦があった。</p> <p>については以下の推薦理由を踏まえ、当会から推薦可否についてご審議いただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 表彰推薦名：第 48 回医療功労賞 2. 表彰対象者 <ul style="list-style-type: none"> (1) 困難な環境下で働いている医療関係者、各地の専門医療施設で献身的な取り組みをしている人。 (2) 国内外で地域住民の支えとなる健康増進・疾病予防、治療をはじめ、障害を持った方や高齢者、子どもが安心して暮らせるような活動を行っている医療従事者など。 3. 表彰 各都道府県及び海外医療活動団体より中央選考委員会に推薦された人の中から 10 名以内。 4. 応募資格 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域住民の支えとなる健康増進・疾病予防、治療などを行い、15 年以上献身的に職務に励んで功績をあげた医療従事者で、現在も医療 業務に従事している人。 (2) 年齢は原則として 50 歳以上。 (3) 過去に褒章(紺綬褒章を除く)、叙勲、厚生労働大臣賞(医療功労者＝本賞、保健文化賞、障害者自立更生者等の天応皇后陛下の拝謁を賜る表彰に限る)を受けていない人。 <p>【候補者】池城正浩会員</p> <p>【推薦理由】平成9年から平成31年まで当会理事を務め、平成21年から平成31年の10年間は、当会代表理事（会長）として、多大なる貢献を担ってこられた。特に、同氏が会長就任後の平成22年より法人化移行準備委員会を発足し、平成24年3月に沖縄県より、公益社団法人の認定を受け、県民の医療・保険・福祉の増進の寄与に努めてこられた。また、地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成28年度に（一社）沖縄県リハビリテーション専門職協会を立ち上げ、協会長として、構成団体（当会、沖縄県作業療法士会、沖縄県言語聴覚士会）の連携を指揮し、県、市町村との連携を図り、さらに地域包括ケアシステムの深化へ向けての道筋を作り、「地域共生社会」へ向けての基盤づくりに、県理学療法士協会長として、尽力されたことが挙げられる。また、平成20年度よりスタートしたJICA草の根技術効力事業による「フィジー国理学療法士臨床技術研修」の現地視察や人員派遣調整などを担い、フィジー国理学療法士の人材育成に多大な貢献を担った。</p>

審議内容	<p>①第49回医療功労賞候補者として池城正浩会員の推薦について 末吉委員長) 医療功労賞推薦の経緯について説明する。</p> <p>仲西監事) 池城前会長の功績については特に異存は無いが、今回の対象者選定基準には合致しているのか。又、当協会で今までに授賞した方はいるのか、更に他士会で授賞した方についてはどうか。</p> <p>小嶺会長) 前年度まで私が委員長を務めていたので代わって回答すると、当協会での受賞者はありません。他士会については把握していません。更に、募集要項からすると、推薦基準に合致していないことは無いと考える。</p> <p>末吉委員長) もっと具体的に推薦理由を書ければ良かったのだが、地域包括ケアシステムの構築に係る事業や地域共生社会の構築といった取り組みに積極的に会を率いて活動してきた実績を考えると妥当な候補者といえると考えている。</p> <p>仲西監事) 他の団体でどの様な方が授賞しているかを見てみれば、推薦の根拠となり得るのではないかと。</p> <p>久高事務局長) 恐らく他の団体では、会長職を退任した方が、1人か2人授賞したのを見たように記憶している。その方々は年配の方であった為、今回池城氏の場合年令が未だ若く、現役で意欲的に活動している現状があるので、そのことだけが気がかりといえれば気がかりである。</p> <p>小嶺会長) 参考までに、表彰審査委員会ではJPTAの協会賞の推薦は、会員歴30年以上で15年以上役員を務めた方を推薦する予定にしている。</p> <p>立津副会長) 他団体では、推薦の2年前から推薦する方を決めている。更に、授賞した時には、</p> <p>そのことを祝賀会として新年会の中で他団体へ知らしめている。祝賀かいについては、当協会でも開催可能なのか。</p> <p>小嶺会長) 推薦にあたって、準備してはいかがか。</p> <p>久高事務局長) 今から勉強していきたい。</p> <p>末吉委員長) 過去の主な職種の医療職の方が授賞している。授賞者のデータについては後程資料を提示したい。</p> <p>小嶺会長) 今までもこの賞については推薦者を募ってきたが、今回推薦の提案があったことはとてもよかったと考える。なので、今回は良い機会でもあり是非推薦してはと考えるがいかがか。</p> <p>他に意見・質疑無。</p>		
審議結果	<p>①第49回医療功労賞候補者として池城正浩会員の推薦について 全会一致で可決</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="316 1713 699 1765">担当局：表彰審査委員会</td> <td data-bbox="699 1713 1449 1765">担当部：</td> </tr> </table>	担当局：表彰審査委員会	担当部：
担当局：表彰審査委員会	担当部：		
備考	<p>理事会翌日(8月13日)、推薦候補者へ意思確認を行ったところ、本人の同意が得られませんでした。</p>		

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会長 小嶺 衛

監事 千知岩 伸匡

監 事 仲 西 孝 之